

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議
第29回技術研究発表会 共通セッション

超スマート社会に向けた アーバンインフラテクノロジー

2017/11/9

16:05~17:00

ROOM4

共通セッションのねらい

国が打ち出した
超スマート社会（Society5.0）の
実現に向けて、
第4次産業革命とも称されるAIやIoTなどの
新技術に注目が集まっています。

今回の共通セッションでは、
これらの新技術がアーバンインフラテクノロジーの
観点からどのような意義を持つかについて、
その先進事例を紹介しながら考えてまいります。

超スマート社会（Society5.0）とは

国が示した第5期科学技術基本計画（2016年～2020年度）の中で未来の産業構造と社会変革に向けた新たな価値創出として超スマート社会（Society5.0）の実現が示された。

超スマート社会（Society5.0）とは、狩猟社会（Society1.0）農耕社会（同2.0）工業社会（同3.0）情報社会（同4.0）に続く新たな経済社会

⇒ ビッグデータ、AI等の新たな技術を活用し経済発展と社会的課題解決の両立により人間中心の社会の実現を目指す。

超スマート社会における「アーバンインフラテクノロジー」は、センサーとIoTにより収集されたリアルデータ（ビッグデータ）をAIが解析し、現実空間にフィードバックしてエネルギーや交通など、都市機能の全体最適化を実現する。

共通セッション スケジュール

時間	番号	内容	
16:10-16:25	E01	都心部におけるモニタリングプラットフォーム構築	
		三菱地所(株)	溝口 修史 氏
		Pacific Spatial Solutions, LLC	八十島 裕 氏
16:25-16:40	E02	GNSSを活用したAR技術「地下埋設物可視化システム」	
		清水建設(株)	三木 浩 氏
16:40-16:55	E03	計画検討へのVR援用と立体データによるまちづくりマネジメント	
		パナソニック(株)	長濱 龍一郎 氏
16:55-17:10	E04	都市開発・エリアの価値を高める情報活用プラットフォーム 「AIxAI (アイアイ)」の構築	
		(株)日建設計総合研究所	吉田 雄史 氏
17:10-17:30		質疑・意見交換 等	

サイバー空間とフィジカル（現実）空間を高度に融合させたシステムにより、
新たな価値を創出⇒ **経済発展と社会的課題の解決を両立**

